

9. 幸(高) 齢者様の介護と地域看取りの実践及び、 死の文化の継承活動

グループ名 なごみ会

代表者名 柴田 久美子

① 活動の目的

命を軽くみるような悲惨な事件があとを絶たない日本社会。今の社会をこのままにしておくことを誰もが良いとは思っていないと思います。近年、年長者を敬うということが希薄になっている中、高度経済成長を成し便利な社会を築いた幸(高)齢者様。どんな方でも最期まで尊敬をもって、生きる場を提供できる国になることを願い活動を行なっています。

1. 地域看取りの実践：ひとり一人の尊敬を大切に、本人が望む最期を叶え幸せな毎日を死に逝くその日を見つめて共に歩ませて頂く。高齢者の様の手足となる喜びのもとで働かせていただく。
2. 全国への啓発活動：幸(高)齢者様の看取りを通して命の大切さと尊敬の大切さを学び、死の尊さを体験する。体験した死の尊さを死の文化として次の世代に継承していくことを目的とした事業。
 - a 昨年より開始された療養型病床群全国で 23 万床の削減施策。これにより社会流出している医療難民と言われる高齢者様。生きる場を失っている多くの高齢者様に生きる場を提供できるような啓発。生きる場を取り戻すことにより、高齢者様とその家族が、家族の絆を深め命のバトンを受け取る場を作ることを目指した啓発実施・広報活動。
 - b 増加する自殺者。特に若い青少年の方々に命の尊さを伝え自殺予防を目指した啓発。真に幸せな国づくりとなる実践と活動を志としています。

② 活動の概要

なごみ会はなごみの里でのボランティア活動を通して「心豊かな村づくり」を目指した社会貢献を目的とする。幸(高)齢者様の尊厳を大切にし、様々なご要望にお答えする活動と啓発活動を行なっている。

1. 慰問活動

松江市障害者向け市営住宅でお独り、車椅子生活をなされている石川さん宅に慰問訪問を兼ね、お話をお聞きしました。併せて、「出雲なごみの里」が開所されたのに

併せて見学を行う。

実施年月日及び参加人数

- ① 平成 20 年 06 月 06 日（金） 2 名
- ② 平成 20 年 06 月 18 日（水） 4 名
- ③ 平成 20 年 07 月 09 日（水） 1 名

2. 研修会に参加

実施年月日及び参加人数

- ④ 平成 20 年 05 月 12 日（月） 2 名 福祉職員生涯研修
- ⑤ 平成 20 年 05 月 30 日（金） 1 名 日本を美しくする会(掃除奉仕)
- ⑥ 平成 20 年 07 月 15 日（水） 1 名 食と福祉用具の基礎知識

3. 啓発活動

実施年月日及び講演場所・随行人数

- ⑦ 平成 20 年 01 月 14 日（月） 1 名 京都暁星高等学校にて講演
- ⑧ 平成 20 年 01 月 29 日（水） 2 名 東京地区支援者様訪問
- ⑨ 平成 20 年 04 月 11 日（金） 2 名 大阪地区支援者様訪問
- ⑩ 平成 20 年 06 月 22 日（日） 1 名 札幌ひばりが丘病院にて講演
- ⑪ 平成 20 年 07 月 10 日（木） 2 名 出雲講演（恒例）

毎年 8 月に島民対象に「なごみバザー」開催。

島根県知事より「県民いきいき活動奨励賞」を頂きました。

なごみ会を隔月開催し、幸齢者様とご家族の皆様と語り、ボランティア活動をして戴ながら、親睦を図っています。

見学者様（個人・会社・グループ）も多数お見えになり「幸齢者様の尊厳の大切さ・看取りの大切さ」を感じ取っていただいています。

③決算報告書

■ 収入	(単位：円)	備 考
大同生命厚生事業団助成金	200,000-	
■ 支出		
通信費		
切手 @100×120	12,000-	
@80×100	8,000-	
@10×50	500-	
80円封筒通信書簡 @80×114	9,120-	
新60円郵便書簡 @60×300	18,000-	
通常郵便葉書 @50×140	7,000-	
EXPACK封筒 @500×10	5,000-	
<u>小 計</u>	<u>59,620-</u>	
備品代		
コピートナー @15,220×1	15,220-	
FAXリボン @3,780×1	3,780-	
インクジェットカートリッジ		
@2,400×3+@2,210×3	13,830-	
セロテープ5巻パック @291×2	582-	
ビデオテープ10巻 @1,600×2	3,200-	
ラベル用紙 @2,780×1	2,780-	
A4用紙(5,000枚)		
@2,990×1	2,990-	
オルファ替え刃 @210×1	210-	
ゼムクリップ(100個入り) @45×2	90-	
<u>小 計</u>	<u>42,682-</u>	
交通費		
(内訳)		
慰問活動		
①. 5,400×2	10,800-	隠岐～本土のフェリー乗船券に助成金を使わせて頂きました。

㊦. $5,400 \times 3 + 2,800 \times 1$	19,000-	
㊧. $5,800 \times 1$	5,800-	
研修会参加		
㊨. $5,400 \times 1 + 2,800 \times 1$	8,200-	
㊩. $5,400 \times 1$	5,400-	
㊪. $9,550 \times 1$	9,550-	
啓発活動		
㊫. $5,400 \times 1$	5,400-	
㊬. $5,400 \times 2$	10,800-	
㊭. $5,400 \times 2$	10,800-	
㊮. $5,400 \times 1$	5,400-	
㊯. $5,800 \times 2$	11,600-	
小 計	102,750-	
合 計	205,052-	

あとがき

これからも、高(幸)齢者様の尊厳と自立を優しく、感謝の気持ちを持ちケアと啓発、日本の死の文化を伝えて行きたいと思います。本当にご助成に感謝と共に有難うございました。